



Cisco Meeting Management

リリース 3.8

(ビルド 3.8.0.21)

リリースノート

2023 年 9 月 8 日

目次

| | |
|--|----|
| ドキュメント変更履歴..... | 3 |
| 1 はじめに..... | 4 |
| 1.1 ソフトウェア..... | 4 |
| 1.2 以前のバージョンからのアップグレード..... | 4 |
| 1.3 以前のバージョンへのダウングレード..... | 6 |
| 1.4 OVA をデプロイ..... | 6 |
| 1.5 アップグレードおよびインストールファイルのチェックサム..... | 6 |
| 1.6 スマートライセンス..... | 7 |
| 1.7 以前のバージョンのソフトウェアメンテナンスの終了..... | 7 |
| 1.7.1 ソフトウェアメンテナンスの終了..... | 7 |
| 1.8 Meeting Management と接続された Meeting Server を、必ず同じソフトウェアバージョンで実行する..... | 8 |
| 2 新機能と変更点..... | 9 |
| 2.1 ライセンス予約の機能強化..... | 9 |
| 2.2 Meeting Management を使用したビデオオペレータへのスペースの割り当て..... | 9 |
| 2.3 ユーザー補助の向上..... | 11 |
| 3 バグ検索ツール、解決済みの問題と未解決の問題..... | 13 |
| 3.1 バグ検索ツールの使用..... | 13 |
| 3.2 解決済みの問題..... | 13 |
| 3.3 未解決の問題..... | 14 |
| 4 相互運用性..... | 16 |
| 4.1 ミュート/ミュート解除およびレイアウト動作..... | 16 |
| 5 製品マニュアル..... | 17 |
| 5.1 関連資料..... | 17 |
| ユーザー補助の注意事項..... | 18 |
| シスコの法的情報..... | 19 |
| シスコの商標..... | 20 |

ドキュメント変更履歴

表 1: マニュアルの変更履歴

| 日付 | 説明 |
|----------------|-----------|
| 2023 年 9 月 7 日 | ドキュメントを公開 |

1 はじめに

Cisco Meeting Management は、シスコのオンプレミスビデオ会議プラットフォーム、Cisco Meeting Server の管理ツールです。このツールを使用すると、プラットフォームで実行されている会議を監視、管理でき、使用中のシスコライセンスに関する情報も提供されます。

最新機能を備えた Meeting Management には、既存の Cisco Meeting Server ライセンスが含まれます。

Meeting Management を Cisco TMS (Cisco TelePresence Management Suite) と組み合わせると、Meeting Server Call Bridges で実行される会議のスケジュールと管理ができます。

これらのリリースノートには、新機能、改善点、および Cisco Meeting Management の変更点が記載されています。

1.1 ソフトウェア

Meeting Management は、仮想アプライアンスです。VM (仮想マシン) の使用は、Meeting Management が実行または監視する同時アクション数によって異なります。仕様と要件については、『インストールと構成ガイド』を参照してください。これには、管理中の Call Bridges 数に関連するサイズの見積が記載されています。

セキュリティ上の理由から、最初の実行後にコンソールを介して構成するためのユーザーアクセスはできません。インストールプロセスを除き、Meeting Management はすべてブラウザインターフェイスを介して使用します。

1.2 以前のバージョンからのアップグレード

アップグレードする前に：

- ・ Meeting Management の最新のバックアップがあることを確認してください。手順については、『インストールと構成ガイド』を参照してください。
- ・ デプロイがアップグレード先のバージョンの要件を満たしていることを確認してください。
- ・ アップグレードの実行中に重要な監視対象の会議が行われないように、アップグレードを計画してください。
- ・ アップグレードを開始する前に、他のユーザー周知してください。

注：ビデオオペレータと管理者の両方を含むすべてのユーザーは、警告なしにサインアウトされ、アップグレード時に進行中および最新の会議データは失われます。

- ・ Meeting Management をアップグレードした直後に、接続されているすべての Meeting Server をアップグレードする準備ができていることを確認してください。古いバージョンの Meeting Management が原因の問題を回避するには、最初に Meeting Management をアップグレードしてから、接続されている Meeting Server をアップグレードすることを強くお勧めします。

アップグレードイメージを確認するためのキーをアップロードする：

Cisco Meeting Management では、アップグレードイメージに署名を埋め込み、Meeting Management はその署名を使用してイメージが本物かどうかを確認します。

イメージの署名は、署名付きイメージからアップグレードする場合にのみ検証されます。このため、署名されていないイメージから署名付きイメージにアップグレードする場合、つまり、3.6 から 3.7 へのアップグレード、または旧バージョンへのダウングレードでは、引き続き手動でハッシュを検証することを推奨します。この機能は、3.7 以降からアップグレードするときに完全に有効になります。

バージョン 3.7 から、特別なビルドにアップグレードするには、特別なキーをアップロードする必要があります。**[キーのアップロード (Upload Key)]** ボタンが導入され、管理者が公開キーをアップロードしてアップグレードイメージを確認できるようになりました。ただし、管理者は、特別なビルドにアップグレードする場合にのみ、このアクションを実行します。

公開キーをアップロードするには：

1. **[設定 (Settings)]** ページの **[アップグレード (Upgrade)]** タブに移動します。
2. **[キーのアップロード]** をクリックし、公開キーを参照して選択します。選択した公開キーが検証され、アップロードされます。

注：署名された製品/特別なビルドから別の署名された製品ビルドへのアップグレードは、管理者からのアクションを必要としません。Meeting Management は、ハッシュの手動検証を必要とせずに、アップグレードイメージを自動検証します。

Meeting Management をアップグレードする：

1. cisco.com のダウンロードエリアにサインインします。
2. アップグレード イメージ ファイルをダウンロードし、適切な場所に保存します。
3. Meeting Management にサインインします。
4. **[設定 (Settings)]** ページの **[アップグレード (Upgrade)]** タブに移動します。
5. **[アップグレード (Upgrade)]** をクリックします。
6. **[アップグレードファイルのアップロード (Upload upgrade file)]** をクリックします。
7. イメージファイルのアップグレードを選択し、**[開く (Open)]** をクリックします。
8. チェックサムが [以下](#)と同じであることをチェックし、確認します。
チェックサムが一致しない場合は、ファイルが破損している可能性があるため、アップグレードをインストールしないでください。
9. **Meeting Management** を再起動して、アップグレードを完了します。

1.3 以前のバージョンへのダウングレード

以前のバージョンにダウングレードする必要がある場合：

- ・ 通常のアップグレード手順を実行して、適切なバージョンのイメージファイルを実アップグレードファイルとして選択します。
- ・ 予約モード (SLR/ PLR) を使用する場合は、予約から登録を解除してから、以前のバージョンにダウングレードしてください。ライセンス予約の登録解除の詳細については、[「予約済みライセンスの返却」](#)を参照してください。

1.4 OVA をデプロイ

OVA を vCenter にアップロードしてデプロイすると、[発行元 (Publisher)] フィールドに [Trusted certificate (信頼できる証明書)] と表示されます。OVA のインポート時に、無効な証明書と信頼できない証明書に関する警告が表示された場合は、

<https://kb.vmware.com/s/article/84240> の記事を参照してください。OVA への署名に使用された証明書に対応する中間証明書とルート証明書を VECS ストアに追加する必要がある場合があります。中間証明書またはルート証明書の取得、またはその他の問題については、[シスコテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

1.5 アップグレードおよびインストールファイルのチェックサム

Meeting Management をインストールまたはアップグレードする前に、ファイルが破損していないことを常に確認する必要があります。以下のこのリリースのファイル名とチェックサムを参照してください。

イメージのアップグレード：

- ・ ダウンロードファイル名：**Cisco_Meeting_Management_3_8_0.zip**
- ・ アップグレードイメージ名：**Cisco_Meeting_Management_3_8_0.img**
- ・ アップグレードイメージの MD5 チェックサム：**1cf2f7e9c173f61a809a1d47499d12b5**
- ・ アップグレードイメージの SHA256 チェックサム
b1d152bbc37f8b48fe902c929b0b5a762c558f8e4b329ef3587950773a2abe4a
- ・ アップグレードイメージの SHA512 チェックサム：
84fe0bea3926befbd541a2eae31dec89e5ef46a0f3695e951ae0833097f376c14717429049d0bb67df1218972d128977579635ab7f046f9ad77f63a4938ef96e

vSphere 7.0 の新しいインストールの OVA :

- ・ ファイル名 : Cisco_Meeting_Management_3_8_0_vSphere-7_0.ova
- ・ イメージの MD5 チェックサム : c12fbee54c4788b048a8407ddc1efc5b
- ・ イメージの SHA256 チェックサム :
a73ba42163a41528298954c003a126d31f93e08b16a369f507f0d74df67b387e
- ・ イメージの SHA256 チェックサム :
116c8ccb8b67c4b2f682160cf2707abcfb9aa98f60aca9ae133b2745b54a20b79f29cd31b
f142c7d7e392b7ef175aa3096fd1a79e3230225cd9fad24a943b35e

注 : VMware は ESXi 6.x バージョンのサポートを終了しており、今後どの 6.x バージョンでも Meeting Management はテストされません。このリリースのバージョン 3.8 は、ESXi 7.0.x のみをサポートしています。今後のリリースでは、ESXi 8.0 のサポートが追加される予定です。

1.6 スマートライセンス

3.4 リリース以降、スマートライセンスは、Meeting Management に必須です。3.4 リリース以降、従来のライセンスのサポートは廃止されました。スマートライセンスに移行することをお勧めします。

スマートライセンスとアップグレードの詳細については、『[管理者向け Cisco Meeting Management ユーザーガイド](#)』を参照してください。

1.7 以前のバージョンのソフトウェアメンテナンスの終了

一度に 2 つの完全バージョンの Meeting Management がサポートされます。これは、後続の 2 つの完全バージョンがリリースされたときに、特定のリリースのメンテナンスとサポートの終了を通知することを意味します。詳細については、『[Cisco Meeting Server、Cisco ミーティング アプリケーション、および Cisco Meeting Management ソフトウェア](#)』の「[メンテナンスおよびサポートポリシーの終了](#)」を参照してください。

1.7.1 ソフトウェアメンテナンスの終了

表 2 : Meeting Management のバージョンのソフトウェアメンテナンス終了タイムライン

| Cisco Meeting Management バージョン | ソフトウェアメンテナンス終了通知期間 |
|--------------------------------------|---|
| Cisco Meeting Management バージョン 3.5.x | Cisco Engineering が Cisco Meeting Management バージョン 3.5.x の最終的なソフトウェア メンテナンス リリースやバグ修正をリリースする最終日は、2023 年 7 月 15 日です。 |

1.8 Meeting Management と接続された Meeting Server を、必ず同じソフトウェアバージョンで実行する

Meeting Management と接続された Meeting Server は、同じソフトウェアバージョンを実行する必要があります。

3.0 より前は、Meeting Management のすべてのバージョンが、同じ Meeting Server と前の 2 つの Meeting Server をサポートしていました。3.0 以降、各 Meeting Management バージョンは、同じバージョンを実行している Meeting Server のみをサポートします。

注：問題を回避するために、接続されている Meeting Server をアップグレードする前に、常に Meeting Management をアップグレードすることを強くお勧めします。この変更を反映するために、[以前のバージョンからのアップグレード](#) を編集しました。

2 新機能と変更点

このセクションでは、3.8 の新機能について説明します。

2.1 ライセンス予約の機能強化

Meeting Management では、ライセンス予約を使用して機能をアクティブ化し、ライセンスを予約します。バージョン 3.8 以降から、**[ライセンス (Licensing)]** セクションでライセンスを予約中に Cisco Smart Software Manager (CSSM) が想定している 30 秒より応答に時間がかかる場合、さまざまなタイムアウト値でさらに 2 回の再試行が実行されます。Meeting Management は、2 回目と 3 回目の再試行をそれぞれ 60 秒と 90 秒待機します。3 回の再試行後にライセンスが正常に予約されたら、Meeting Management の **[概要 (Overview)]** ページに、**[Cisco Smart Software Server に到達できませんでした (Unable to reach Cisco Smart Software Server)]** が表示されます。その後、ユーザーはライセンス予約手順を再開できます。ライセンスが正常に予約されると、メッセージは消去されます。

このリリースから、**[ログ (Logs)]** ページの **[CMM ログ (CMM logs)]** タブにある **[ログバンドルをダウンロード (Download log bundle)]** ボタンを使用してダウンロードしたライセンスレポートには、試行回数またはライセンス予約の再試行回数が記載されます。

2.2 Meeting Management を使用したビデオオペレータへのスペースの割り当て

バージョン 3.8 から、Meeting Management の管理者は、ビデオオペレータを特定のスペースにタグ付けして、それらのスペースに関連付けられている会議にのみアクセスできるようにすることができます。以前は、Meeting Management のビデオオペレータはすべてのスペースと会議にアクセスできました。管理者は、ビデオオペレータを作成または変更する際に、より効果的に会議を管理および監視できるように、タグを追加することでこれを制限できます。

この機能では：

- ・ 各スペースには 1 つのタグを付けることができます。ただし、同じタグ名を複数のスペースに追加できます。管理者はこのタグをビデオオペレータに割り当て、適切なスペースまたは会議へのアクセスを提供できます。タグ名は最大 10 文字で、大文字と小文字は区別されません。これは、coSpace API を使用して、Meeting Server のみで作成できます。
- ・ 複数のタグを割り当てることで、ビデオオペレータに複数のスペースと会議へのアクセス権を付与できます。ビデオオペレータには、最大 10 個のタグを割り当てることができます。
- ・ スペースタグは、新規および既存のビデオオペレータの両方に追加できます。ビデオオペレータにタグが割り当てられていない場合、ビデオオペレータは（タグの有無にかかわらず）すべてのスペースまたは会議にアクセスできます。同様に、タグのない会議スペースは、タグが割り当てられていないオペレータに表示されます。
- ・ 進行中のミーティング中にスペースに追加または変更されたタグは、後続のミーティングからのみ反映されます。

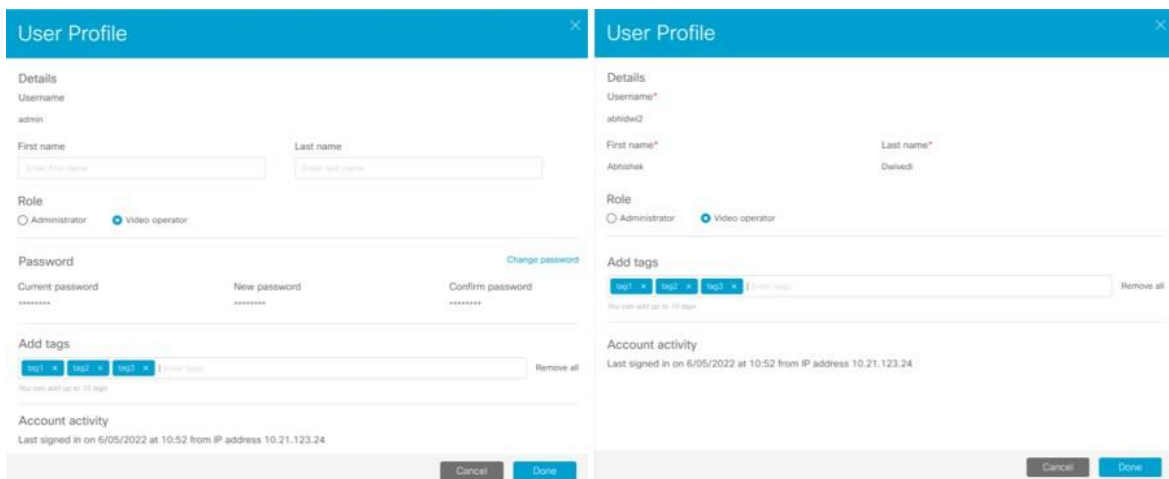
- ・ Meeting Management にサインインしている間にビデオオペレータに追加または変更されたタグは、ビデオオペレータが次のセッションにサインインした後にのみ反映されます。
- ・ Meeting Management の管理者は、**[会議 (Meetings)]** タブまたは **[スペース (Spaces)]** タブをそれぞれ使用して、すべてのミーティングとスペース（タグの有無にかかわらず）を表示できます。Meeting Management 管理者にタグを追加することはできません。
- ・ ビデオオペレータは、タグ付けされたスペースで開催されている会議にのみ参加者を移動できます。
- ・ 管理者とビデオオペレータのユーザー名は一意である必要があります。
- ・ タグが誤って割り当てられるのを防ぐために、ローカルユーザーグループと LDAP ユーザーグループの両方に異なるユーザー名を使用することをお勧めします。
- ・ Meeting Management から LDAP ユーザーグループを削除または切断してから再度追加すると、Meeting Management は管理者がその LDAP ユーザーグループに割り当てたタグを保持し続けます。

次の手順を実行して、新しいビデオオペレータのタグを追加します。

1. **[ユーザー (Users)]** ページの **[ローカル (Local)]** タブで、**[ローカルユーザーの追加 (Add Local User)]** ボタンをクリックして、**[ローカルユーザーの追加 (Add Local User)]** を起動します。ポップアップウィンドウを起動します。
2. 新しい **[タグの追加 (Add Tags)]** フィールドに、割り当てるタグを入力します。新しいフィールドのスペースに対応するタグを追加します。最大 10 個のタグをビデオオペレータに割り当てることができます。

次の手順を実行して、既存のビデオオペレータと LDAP ユーザーグループにタグを追加します。

1. [ユーザー (Users)] ページの [ローカル/LDAP ユーザーグループ (Local/LDAP user groups)] タブで、スクロールダウンしてスペースタグを割り当てるビデオオペレータを見つけます。
2. 選択したビデオオペレータに対する [アクション (Actions)] で、[ユーザープロフィールを表示 (View User Profile)] ボタンをクリックして、[ユーザープロフィール (User Profile)] ポップアップウィンドウを起動します。
3. [タグの追加 (Add Tags)] フィールドで [編集 (Edit)] ボタンをクリックします。



4. [タグの追加 (Add Tags)] のスペースに対応するタグを追加します。最大 10 個のタグをビデオオペレータに割り当てることができます。
5. [完了 (Done)] をクリックします。

2.3 ユーザー補助の向上

バージョン 3.8 の Meeting Management では、次のユーザー補助の改善が導入されています。

- ・ Meeting Management のすべてのオプションボタンは、矢印 キーを使用して移動できます。
- ・ [ライセンス (Licenses)] ページの [ツールヒント/ヘルプヒント (tool tip/ help tip)] ボタンは、クリックした場合にのみテキストが開きます。
- ・ キーボードユーザーは、矢印キーを使用すると、右上の [ローカル (Local)]/[管理 (Admin)] メニューのオプション間を移動できます。
- ・ タブで左側の [概要 (Overview)] オプションに移動すると、矢印キーを使用してすべてのタブを移動できるようになりました。
- ・ [概要 (Overview)] ページでは、すべての見出しが論理階層に表示されます。

- ・ **【概要 (Overview)】** ページの **【スマートライセンス (Smart Licensing)】** オプションで、日付ピッカーを開くために使用した **Enter** キーを押した後に **Tab** キーを押した場合にのみ、フォーカスが日付ピッカー内に移動するようになりました。
- ・ スクリーンリーダーの使用中に **Enter** キーを押して **【ライセンス (Licenses)】** ページのさまざまなオプションに移動すると、すべてのオプションをアクティブにできます。
- ・ **【概要 (Overview)】** ページにある **【通知 (Notifications)】** ダイアログの **【完了 (Done)】** ボタンまたは **Esc** ボタンを押すと、フォーカスが **【通知の表示 (See notifications)】** ボタンに戻ります。

3 バグ検索ツール、解決済みの問題と未解決の問題

シスコのバグ検索ツールを使用して、問題と利用可能な回避策の説明など、Cisco Meeting Server に関する解決済みの問題および未解決の問題に関する情報を探すことができます。これらのリリースノートに示されている ID によって、それぞれの問題の説明に直接移動できます。

3.1 バグ検索ツールの使用

1. Web ブラウザを使用して、[\[バグ検索ツール \(Bug Search Tool\) \]](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/) に移動します。
2. cisco.com の登録ユーザー名とパスワードでログインします。

このマニュアルに記載された問題に関する情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **[検索 (Search)]** フィールドにバグ ID を入力し、**[検索 (Search)]** をクリックします。

ID がわからない場合に情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **[検索 (Search)]** フィールドに製品名を入力し、**[検索 (Search)]** をクリックします。

または、

[製品 (Product)] フィールドで **[シリーズ/モデル (Series/Model)]** を選択し、**「Cisco Meeting Management」** と入力します。次に、**[リリース (Releases)]** フィールドで **[これらのリリースで修正済み (Fixed in these Releases)]** を選択して、たとえば **「3.5」** とリリースを入力して検索します。

2. 表示されたバグのリストから、**[変更日 (Modified Date)]**、**[ステータス (Status)]**、**[重大度 (Severity)]**、**[評価 (Rating)]** ドロップダウンリストを使用してリストをフィルタリングします。

バグ検索ツールのヘルプページには、バグ検索ツールの使用に関する詳細情報があります。

3.2 解決済みの問題

3.8 で解決済み (ビルド 3.8.0.21)

| 参考資料 | 問題点 |
|----------------------------|---|
| CSCwd60705 | PMP/SMP スマートライセンスの割り当てが完了するまでに 5 分以上かかります。 |
| CSCwe34764 | Meeting Management で会議を録画しているときに、会議の参加者がさまざまな Call Bridge に分散している場合は、録画ボタンが回転します。 |
| CSCwe53152 | 会議中に、参加者が画面を共有している場合、Lync 参加者は自分のスナップショット (自分のビデオ) を撮ることができません。 |

3.3 未解決の問題

このリリースの既知の問題は次のとおりです。これらの詳細が必要な場合は、サポート (<https://www.cisco.com/support>) にお問い合わせください。

| 参考資料 | 問題点 |
|----------------------------|--|
| CSCwh48492 | [設定 (Settings)] タブの [サインインメッセージ (Sign in Messages)] セクションの [タイトル (Title)] フィールドと [本文 (Body)] フィールドにテキストデータを入力すると、入力フィールドからフォーカスが失われます。 |
| CSCwe65616 | スナップショットの取得は、ライセンスされたスナップショットバージョンの CMM でのみ許可されます。ライセンスのないバージョンの場合、エラーメッセージが返されます。 |
| CSCwa37575 | 生成された SLR コードに複数のカスタマイズライセンスがある場合、ライセンス登録は失敗します。複数のカスタマイズライセンスを持つ SLR コードを生成した後、Meeting Management で認証コードをアップロードすると、「 認証ファイルに問題があります (There is some issue with Authentication file) 」というエラーメッセージが表示されます。ページを更新すると、Meeting Management のステータスが登録済みとして表示されますが、[ライセンス (Licenses)] タブでは、ステータスが [ライセンスなし (Unlicensed)] として表示されたままとなります。 |
| CSCwa44321 | [CMS ログバンドル (CMS Log Bundle)] タブでサーバーのログを収集するときに、管理者が名前ですerverを検索し、複数のサーバーを選択すると、単一のサーバーのみが選択されます。 |
| CSCvz30358 | Meeting Management で、Installation Assistant を使用して新しい Meeting Server を追加または構成しているときに、ユーザーはいくつかのパネルで無効になっている [次へ (Next)] ボタンをクリックして、必須パラメータを設定せずに次のパネルに移動できます。 |
| CSCvt64327 | 管理者がテンプレート名に特殊文字を使用すると、ステータスメッセージの表示が異なり、代わりにエスケープ文字が表示される場合があります。 |
| CSCvt64329 | Meeting Server 2.9 以降でホストされているミーティングの場合、[ロック (Lock)] ボタンはゲートウェイコールに対して有効に見えるように見えますが、効果はありません。Meeting Server はロックステータスを無視します。 回避策：回避策はありませんが、参加者がゲートウェイコールをロックすることは想定していません。 |
| CSCvt64330 | スマートライセンスを使用していて、Meeting Management のデプロイを別のバーチャルアカウントに移動すると、そのユーザーインターフェイスで情報が更新されません。 回避策：今すぐ手動で登録を更新します。 |
| CSCvt00011 | クラスタ内のいずれかの Call Bridge への接続が失われると、Meeting Management はミーティングが行われるスペースに関する詳細を受信できず、ストリーミングが機能しない場合があります。 |
| CSCvr87872 | CDR が失われると、アクティベーションが必要な参加者の変更が Meeting Management に反映されない場合があります。たとえば、Meeting Management は、参加者がすでにアクティブ化されてミーティングに移動している場合でも、ロビーに表示し続ける場合があります。 |
| CSCvq73184 | ミーティングが行われるスペースでペインの配置がオンになっている場合、ユーザーインターフェイスはペインの配置をオフにできないことを示しません。 |

注：macOS の更新により、Chrome を使用している macOS ユーザーに対して一部の証明書が機能しなくなります。証明書が「TLS サーバー証明書には、id- kp- serverAuth OID を含む ExtendedKeyUsage (EKU) 拡張機能が含まれている必要があります」という要件に準拠していることを確認する必要があります。

4 相互運用性

この製品の相互運用性テストの結果は、<http://www.cisco.com/go/tp-interop> に送信されます。ここでは、他のシスコ会議製品の相互運用性テストの結果も確認できます。

4.1 ミュート/ミュート解除およびレイアウト動作

Meeting Server で使用され、Meeting Management で管理されるエンドポイントのミュート/ミュート解除およびレイアウト制御動作の詳細については、以下を参照してください。

- ・ [Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合、エンドポイントのミュート/ミュート解除制御はどのように動作しますか？](#)
- ・ [Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合のエンドポイント レイアウト コントロールの動作内容](#)

5 製品マニュアル

次のサイトには、製品のインストール、初期構成、および操作に関するドキュメントが含まれています。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/meeting-management/tsd-products-support-series-home.html>

5.1 関連資料

Cisco Meeting Server のドキュメントは、次の場所にあります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/meeting-server/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco ミーティング アプリケーションのドキュメントは、次の場所にあります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/cisco-meeting-app/tsd-products-support-series-home.html>

ユーザー補助の注意事項

シスコは、利用しやすい製品およびテクノロジーの設計および提供に取り組んでいます。

Cisco Master Project の Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は、

http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/legal_regulatory/vpats.html#telepresence にあります。

ユーザー補助の詳細については、

www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html を参照してください。

シスコの法的情報

本書に記載されている製品の関する仕様や情報は、事前の通知なしに変更される場合があります。本書に記載されている表現、情報および推奨事項は、すべて正確であると考えられていますが、明示的であれ n 目次的であれ、一切の保証はされないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

本ソフトウェアライセンスおよび付属製品の限定保証は、製品に同梱されている情報パッケージに記載されており、この参照により本書に組み込まれるものとします。ソフトウェアライセンスまたは限定保証が見つからない場合は、シスコの担当者にお問い合わせください。

シスコが導入する TCP ヘッダー圧縮は、カリフォルニア大学バークレー校 (UCB) により、UNIX オペレーティングシステムの UCB パブリック ドメイン バージョンの一部として開発されたプログラムを適応したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、サプライヤ各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品適格性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している Internet Protocol (IP) および電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークポロジ図などの図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハードコピーおよび複製されたソフトコピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新バージョンについては、現在のオンラインバージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) を参照してください。

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコの商標

Cisco およびシスコのロゴは、シスコまたはその関係会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1721R)